

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「ゆっくり一緒に楽しく」を理念に掲げ、利用者に寄り添うケアを心掛けている。この目標を継続して行く為に、これからも職員が利用者の気持ちを傾聴、受容して行きたいと考える。	「ゆっくり一緒に楽しく」を理念に掲げ、利用者に寄り添うケアを心掛けている。この目標を継続して行く為に、これからも職員が利用者の気持ちを傾聴、受容して行きたいと考える。	常に理念を職員同士で話し合い、しっかりとした目標を持ち利用者が安全に、安心した生活が送れるように支援する。	6ヶ月
2	6	身体拘束をしないケアを行っているが、時に何気なく発する言葉が言葉の拘束（スピーチロック）となるのではないかと考える事がある。	何気なく発している言葉がスピーチロックに値するのか難しい面もあるが、利用者を不安な気持ちにさせないようにしっかりとしたケアに取り組んで行きたいと考えている。	職員間で常に身体拘束について勉強し、利用者に対して尊敬の念を持ち、受容、傾聴の心で接する。	6ヶ月
3	2	利用者が地域との繋がりを持ちながら、生活していただくように支援している。利用者の介護度が重度化し、職員一人では対応できない事もある為、外出出来る利用者が制限されてしまっている。	全員の利用者が、近隣の保育園児との交流を図り、地元で買い物をしたり、地域交流はなぶさにも出向き交流を深めていくように支援したいと考えている。	利用者は孤立する事なく地域の一員として、全利用者が地元の方々と交流できるように支援していく。	6ヶ月
4	26	利用者によりよい生活を送っていただく為に、本人、家族、介護職と連携を図りながら介護計画、モニタリングを行っているが、その人らしい生活が、より一層充実したものになる為の話合いが必要ではないか。	本人、ご家族の希望や意見を取り入れて寄り一層充実した生活を送れるように介護計画、モニタリングを行う。	充実したモニタリングを行い常に本人、ご家族、介護職が連携し、意見や希望を取り入れた介護計画と繋げて行く。日々の生活の中でのその人らしさに一層目を向ける。	6ヶ月
5	35	火災、地震、水害等時に利用者が避難できるように定期的に訓練を行っている。夜間帯での避難の場合、夜勤者が的確に全員の利用者を避難誘導する事ができるように訓練をしていきたい。	日中、夜間帯を問わず職員が冷静な行動が取れ、利用者を安全に避難誘導できるように、訓練を積み重ねていきたい。	定期的に避難訓練を行い、その中で疑問や不安がある時はその都度話し合いを行う。利用者の体調にも心配りをし、不安なく避難ができるような対応をしていく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。